

OB総会のご案内と山小屋支援金およびOB会費のお願い

東京都市大学WV部OB会々員 各位
(旧武蔵工業大学)

令和元年 7月13日
会長 佐藤光司(38卒)

小暑の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

1. OB総会のご案内

平成28年10月に新体制でスタートしたワンダーフォーゲル部OB会もOB会活動に対する皆様のご理解とご協力を賜り、この10月にはOB総会を開催します。WV部OB会規約によりOB総会は3年に1度の開催となりますので、皆様お誘い合わせの上是非ご参加下さい。なお、今年は恒例のじんじろげ小屋での山小屋OB会は開催しませんが、現役による山小屋ワーク合宿は例年どおり行います。

2. 山小屋支援金(寄付)のお願い(5,000円/1口)

この度じんじろげ小屋屋根の修繕に伴い寄付金をお願いすることとなりました。昨今、小屋の老朽化に加え、環境面、安全面についても世の中の目が厳しくなっております。じんじろげ小屋においても、いくつかの問題が出てきております。大きなところでは、①水質の問題 ②トイレし尿処理の問題 ③屋根の老朽化の問題 の3点。

①の水質について。水質検査を実施したところ、大腸菌が検出されました。複数箇所測定したうちの1か所だけからの検出であり、かつ微量ではありますが『飲用不適。煮沸して利用のこと』との看板を設置しました。

②のトイレについて。いくつかの対策案を業者から提案してもらった結果、最も費用がかからない『災害時等に活用されているディスポーザブルタイプの携帯トイレ』の利用を現役と検討中です。

③ここ数年雨漏りが続いており、平成29年度に地元業者を伴い山小屋現況調査を行った結果、経年劣化による屋根全体の穴や割れがあり、塗装だけで被覆して防水されている箇所が散見される状態でした。建設後50年経ていることや自然環境の厳しい山中にあること等を勘案すると根本的な対策が必要だということです。

③については緊急の課題であり、最も安価な工法の新たな部材を表面に被せる工事で110万円が必要となります。寄付金は1口5,000円です。OBの皆様におかれましては何卒ご賢察の上寄付にご協力賜りたいと思います。

3. OB会費のお願い(3,000円/年)

皆様のご協力により昨年度、158名の方々に526,000円納入いただきました。OB会の運営およびじんじろげ小屋維持のために引き続きご協力をお願いします。今年度は紙での印刷、郵送を極力減らし、メールでの連絡に切り替え、運営コスト抑制に努めて参ります。

今後とも皆様のご協力をお願いします。OB会活動に対してお礼申し上げます。

OB総会 について

- 1 日時：令和元年 10月26日(土) 15:00～18:00
- 2 場所：総会 東京都市大学世田谷キャンパス1号館 15:00～16:00
懇親会 同上 16:30～18:00 会費：5,000円
- 3 議事：平成30年度WV部OB会業務報告及び会計報告
WV部OB会規約改正
令和元年度WVOB会活動計画及び予算計画
新役員選出

担当 川辺和夫(48卒) 090-7222-9715

※出席もしくは欠席をこのメールの返信にて、8月31日までにお願ひします。
近況報告なども大歓迎です。

お支払い方法について

- ・山小屋支援金（寄付） 5,000円/1口
- ・OB会費 3,000円/年

山小屋支援金は、何口でも受け賜わります。
OB会費と合算して下記までお願いいたします。もちろんOB会費のみも受け賜わります。

ゆうちょ 銀行 口座名義 東京都市大学WV部OB会

■ゆうちょ銀行(郵便局)からの振替口座 00190-1-587731

郵便局に備付けの「払込取扱票」に記入して窓口でお申し込みください。または、郵便局のATMでは、現金のほか通帳またはキャッシュカードもご利用いただけます。
電信扱いは手数料が高いのでお勧めしません。

■他金融機関からの振込口座 店(019)当座 0587731

ATMもしくはインターネット振込をご利用ください

担当 飯島五郎(元年卒) 080-6881-0506

※OB会費は8月31日までに納付お願いいたします。
※山小屋支援金は、12月31日まで受付けております。

平成30年度 東京都市大学ワンダーフォーゲル部OB会 会計報告

平成30年4月1日 ~ 平成31年3月31日

(一般会計)

単位：円

収入			支出			
科目	予算	決算	科目	予算	決算	備考
29年度繰越金	106,651	106,651	山小屋借地費	70,000	69,400	借地年間費用
OB会費(29年度)158名	480,000	526,000	山小屋維持・修繕費	240,000	207,392	ワーク備品/消耗品補充費、保険、発電機修理費、水質検査費、廃材処理費、トイレ改善調査費
山小屋宿泊費収入	20,000	29,000	山小屋活動費	50,000	46,997	山小屋偵察、関係機関訪問
受取利息	-	1	通信費	50,000	28,980	郵送費用
			事務用品・印刷費	50,000	58,283	報告書作成費用
			渉外費	20,000	20,000	卒部生へのお祝い金
			交通費	80,000	52,000	役員会(5回)
			特別会計へ繰出し①	40,000	-	かたつむり(支援)積立金として
			特別会計へ繰出し②	-	100,000	山小屋大規模修繕費積立金として
			雑費	6,651	1,082	振込み手数料、領収書付箋
総収入	606,651	661,652	総支出	606,651	584,134	

残高	77,518	31年度に繰越し
----	--------	----------

(特別会計)

単位：円

収入			支出			
科目	予算	決算	科目	予算	決算	備考
29年度繰越金	300,000	300,000	かたつむり発行	240,000	-	印刷・製本費用(来期4月実施に変更)
(一般会計から繰入れ)						
①かたつむり(支援)積立金	40,000	-				
②山小屋大規模修繕費積立金	-	100,000				
総収入	340,000	400,000	総支出	240,000	-	

残高	400,000	31年度に繰越し
----	---------	----------

上記の通り、報告いたします。

平成31年4月5日 会計 飯島 五郎



監査の結果、上記報告書に間違いのないことを報告いたします。

平成31年4月5日 会計監査 船越 靖彦



令和元年度 東京都市大学ワンダーフォーゲル部OB会 予算計画書

令和元年4月1日 ~ 令和2年3月31日

(一般会計)

単位：円

収入		支出			
科目	予算	科目	予算	備考	
30年度繰越金	77,518	山小屋借地費	70,000	借地年間費用	
OB会費(2019年度)	501,000	山小屋維持・修繕費	180,000	保険、ワーク備品、消耗品補充費用、トイレ改善費	
じんじろげ小屋寄付金(目標)	1,000,000	通信費	85,000	郵送費用(年度報告、かたつむり、総会案内)	
		事務用品・印刷費	60,000	報告書作成費用	
		渉外費	20,000	卒部生へのお祝い金	
		交通費	60,000	役員会(5回)	
		特別会計へ繰出し①	1,100,000	山小屋大規模修繕費積立金として	
		雑費	3,518		
総収入	1,578,518	総支出	1,578,518		

(特別会計)

単位：円

収入		支出			
科目	予算	科目	予算	備考	
30年度繰越金	400,000	かたつむり発行	150,000	印刷・製本費用	
(一般会計から繰入れ)		山小屋屋根修繕費用	1,150,000	屋根の修繕(信州リゾートサービス㈱)	
①山小屋大規模修繕費積立金	1,100,000				
総収入	1,500,000	総支出	1,300,000		

作成：令和元年6月15日 副会長 田口 哲雄、会計 飯島 五郎
承認：令和元年6月15日 役員会

2019年度（令和元年度）東京都市大学ワンダーフォーゲル部OB会 活動計画書

2019年6月15日修正

2019/04/13

日付	活動	内容	担当
2019年4月13日	第1回役員会	年間計画および予算計画の決定 (次期役員候補者選定準備)	全役員
2019年5月11日～12日	新人歓迎合宿 (山小屋偵察)	山小屋の修繕個所の調査 携帯トイレの実証実験	現役
2019年6月15日	第2回役員会 (今後の山小屋、OB会のあり方検討会)	山小屋偵察、携帯トイレ実証実験の報告及び修繕計画 会員への広報（OB総会開催案内、平成30年度活動・会計報告、会費納入の案内等）の準備。次期役員候補選定準備	全役員
2019年7月中旬	文書発送作業	会員への案内文書発送作業。	総務
2019年8月下旬	第3回役員会 (検討会)	今後の山小屋、OB会のあり方検討。次期役員候補選定	全役員
2019年9月中旬	山小屋ワーク合宿	現役部員の山小屋ワーク活動	現役
2019年9月下旬	第4回役員会 OB総会準備	OB総会の出席者確認。総会当日の段取り（資料、司会進行、会場等）の決定。事前準備。	全役員
2019年10月26日	OB総会	活動報告及び会計監査、会計報告。会則改定。 OB会新役員選出。	全役員
2019年11月下旬	第5回役員会	総会における決定事項の確認及び提案・意見等の整理	全役員
2020年1月下旬	第6回役員会	新旧役員業務引継（意見交換）	全役員（新旧役員）
2020年3月上旬	第7回役員会	活動報告及び会計監査と会計報告。2019年度の活動の検証。 新旧役員業務引継	全役員（新旧役員）
2020年3月上旬	4年生の歓送会	現役部員主催の卒業生歓送会にOB会から代表者が出席。	会長、副会長、他

※役員会・検討会の日程は進捗により随時追加・変更する。

平成 30 年度 OB 会活動内容について (2018・4~2019・3)

平成 30 年度 OB 会業務報告 (平成 30 年 4 月~平成 31 年 3 月)

4 月 21 日 第 1 回役員会

佐藤、田口、川辺、小池、成田、飯島 現役：北原、矢部、泉、山田、青山

- ・平成 29 年度 OB 会業務報告及び平成 29 年度会計報告の確認をした。また、業務報告は全 OB の他振替口座を開設している郵便局に提出する事を確認した。口座団体名「東京都市大学WV部 OB 会」
- ・平成 30 年度の主な年間活動計画を確認した。
 - 5 月 山小屋水道水の水質検査：検査資料の採取
 - 6 月 地元関係機関挨拶：佐久市協和財産区、望月少年自然の家
 - 6 月 山小屋偵察：山小屋のトイレ修繕等に係わる地元専門業者との現地立会
 - 7 月 OB 向け資料の発送
 - 9 月 山小屋 OB 会
 - 3 月 卒業生の歓送会
- ・平成 30 年度予算計画を確認した。

山小屋の借地費等山小屋維持に係わる経費やその他年間活動計画を遂行するための必要経費及び特別会計への繰出し分として「かたつむり支援金」を計上した。



5月12～13日 新人歓迎合宿

5月13日 山小屋水道水水質検査を実施した。 調査会社 信濃公害研究所

6月01日 山小屋偵察及び地元挨拶を実施した。WV部OB 田口副会長、小池山小屋担当

- ・地元挨拶 佐久市望月支所経済建設環境係 由井主事、協和財産区 依田議長、上野副議長
- ・信州リゾートサービス(株)望月少年自然の家辰野所長立会いでトイレ現地調査をした。

山小屋偵察報告(2018.6.1実施)		平成30年6月30日
トイレ・風呂場棟	水道注意喚起札	
		
水源取水口	廃棄処理物品	
		
修理済み発電機	荒川氏寄贈エンジンチェーンソー	
		

6月30日 第2回役員会

佐藤、田口、小池、成田、川辺、飯島 現役：矢部、泉、青山

- ・OB向け広報及び山小屋OB会の案内の内容確認及び印刷・発送部数（320部）の確認を行った。
- ・山小屋水道水の水質試験（水道法準拠）結果の報告があった。
分析結果：炊事場蛇口水に大腸菌が検出されたが、その他の分析項目では全ての試料について基準値以下であった。
対策：生水は飲料不適のため沸騰して飲用とする事とし、炊事場に注意喚起の貼り紙をした。
- ・地元挨拶及び山小屋偵察の報告があった
地元挨拶：間伐材の山小屋薪への利活用、山小屋周辺の枯木、大木等の伐採をお願いし快諾を得た。
なお、何れについても事前に相談を行う事とした。
トイレ現地調査：トイレ改善についてOB会の意向等を信州リゾートサービス（株）に説明し、トイレ改修検討業務を受託可能か否か検討依頼した。
- ・本役員会でトイレ改修検討業務委託を信州リゾートサービス（株）に委託する事を了承し山小屋維持修繕費/トイレ改修調査費として予算措置をした。
- ・山小屋OB会企画書の検討
日程を例年より1週早い9月8日、9日に行う事及び買い出しの日時や車の手配についての確認、来賓の対応などについて検討し決定した。なお、ワーク内容については、次期役員会までに現役（矢部中将）が詰めることとした。

8月25日 第3回役員会

佐藤、田口、川辺、小池、飯島、船越、成田 現役：矢部、泉、青山

- ・山小屋OB会の参加者の把握をした。
案内状発送 320名 はがき:OB 317名、先生 3名
回答状況 110名 OB 109名/317名、先生 1名/3名
出席 27名 OB 26名、OB家族 1名
来賓 安味元顧問、堀内前顧問及び辰野所長
- ・山小屋OB会の懇親会及びワーク作業のタイムスケジュールを確認し、食糧計画、ワーク計画等の役割分担などを決定した。なお、ワーク内容は山小屋出入り口の整備等を行う事を確認した。
- ・OB会費納付状況の報告及び会費納付のお願いについて
8月時点での会費納付状況の報告で117名の納付が確認された。会費納付率増加のためため、各代連絡員に「会費納付についてのお願いメール」をすることにした。
- ・その他
現役より、歩荷合宿（鳳凰三山、参加者19名）、夏合宿（南アルプス・聖岳等）の報告があった。

9月8～9日 山小屋OB会

・堀内前顧問、安味元顧問、辰野所長及びOB27名、家族1名、現役21名が参加した。



挨拶する「望月少年自然の家」辰野丈夫氏



解散式挨拶（佐藤会長）



【OB会員】成田 豊興 38、上野 潔 38、荒川 純一 38、佐藤 光司 38、古賀 龍三 38、
安藤 一 38、本間 久 38、緑川 秀夫 38、大山 爾男 40、船越 靖彦 41、高橋 悌三郎
43、田口 哲雄 44、城所孝司 45、久保田 守志 45、小林 俊朗 47、川辺 和夫 48、中馬
義則 50、廣原 美照 51、小池 精一 54、久保田 俊弘 57、藤本 直也 57、佐藤 国仁 57、
原田 岳司 59、飯島 五郎 H元、小佐野 洋樹 H 22、岩田 竜輝 H30、新井山 信 H30
【家族】：城所氏ご子息 【現役】：21名

12月8日 第4回役員会

佐藤、田口、川辺、飯島、名畑、船越 現役：矢部、泉、本木（次期主将）、青山（同副将）

・ じんじろげ小屋 0B 会の報告

(1) 参加者 【来賓】案味元顧問、辰野所長（望月少年自然の家）

【0B 会員】27 名 家族 1 名 【現役】21 名

(2) 懇親会会計報告（収入内訳は、参加費から小屋利用料¥1,000 を差し引いた金額）

・ 収入¥112,000：0B 会員 + 家族 26@4,000、新 0B 会員 2@2,000、安味先生寄付 4,000

・ 支出¥93,812：懇親会費（食料・飲料・雑貨類）等

・ 残金¥18,188：残金は現役活動費へ

ワーク会計報告

・ 予算：30 年度 0B 会費より支出

・ 実績¥64,122：山小屋維持に必要な資機材類

・ 山小屋 0B 会報告及び反省等。

実施時期について、例年実施している敬老の日を挟む連休を避けたことにより、車の渋滞に巻き込まれない、敬老の日のイベントに参加できるなど利点があった等の感想があった。一方で毎年、同じ時期の開催と思い込んでいたため参加出来なくなったとの報告もあった。

・ 山小屋の発電機に対する意見

エンジン発電機についてトイレの汲み出しやスマートフォンの充電用のため必要性は認められるが、使用頻度が限られていることから発電機のレンタルやスマホなどの充電用としてはモバイルバッテリーや小規模な太陽光パネルなどで可能ではとの意見があった。

1月26日 第5回役員会 佐藤、田口、川辺、飯島、上野

・ トイレ改修検討業務委託の下記の3案について検討を行った結果、当面実施可能と思われる携帯トイレ利用案の新人歓迎合宿での実施を現役に提案することとした。

① 無放流装置 TSS 設置案

・ 汚水を放流せずに土壌へ拡散させて土壌微生物による分解及び蒸散させることにより処理される。

・ 概算設置費 ¥10,000,000・汚泥引き抜き費 ¥200,000/回(汚泥堆積量による)

【特徴】電気不要で維持管理費、労力の負担軽減がある。

前処理槽内に堆積した汚泥の引き抜きが必要である。

② バイオラックス設置案

・ 便槽内におがくす等を満たし攪拌し、微生物の力でし尿を水と二酸化炭素に分解

・ 概算設置費 ¥3,100,000・おがくす費 ¥5,000~10,000/年 発電機燃料

【特徴】水はほぼ使わず、くみ取り不要、いやな臭いがしない

おがくすの入れ替え、排気のための電源が必要

③ 携帯トイレ利用案

・ ビニール袋内に排泄し、凝固剤にて排泄物を凝固させる簡易トイレ

・ 年間処理費 ¥254,540/年 運搬費、処理費 10 回分

・ 携帯トイレ 常備又は利用者が携行

【特徴】既存便器を使用、使用済み携帯トイレは可燃ごみとして処理出来る

使用後自身での処理が必要

・ 総会を 10 月に行う事を決定した。

3月2日 現役WV部 卒部会

